

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105578
法人名	医療法人かざはやくリニック
事業所名	グループホームかざはや
所在地	松山市中西内469番地
自己評価作成日	平成23年12月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年1月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

Dr. 施設長を始め、スタッフは全員、「利用者様が楽しく暮らし易い様に」を目標に、その人らしく、最後までホームで過ごして頂ける様、日々努力している。母体が医療機関と言う事もあり、病気が急変時にも速やかに対応でき、安心して過ごして頂ける。また、9名定員と言う規模を活かして、柔軟な対応、小回りのきくホームである。また、地域行事、ホーム行事を通じて、地域の方々との交流も円滑で、地域の一員として迎えてもらっている。しかし、現状に満足せず、日々進化を目指し頑張っています。加えて、スタッフ間のコミュニケーションも良く、笑いの耐えない明るいホームです。

この一年、職員の入替わりもなく、職員同士のチームワークもよく、仕事を続けながら、家族の介護ができるよう「お互いさま」の心で、すべての職員でカバーし合っておられる。管理者は、職員が得意なことをよく把握しておられ、レクリエーション係の方がダンスのリーダーとなって地域の行事時に披露し、地域の方達に喜んでいただいた。職員は「利用者楽しんでほしい」という気持ちを込めて、イラストの得意な職員や、料理の得意な職員等、それぞれの持っている力を発揮しながら取り組まれている。地域の高齢者クラブの方達との交流も盛んで、お互いが顔見知りとなっていて、地域行事に誘ってくださったり、散歩途中に声をかけ合ったりされている。又、1月7日には、七草を届けてくださったり、日頃からお花や野菜をくださることも多く、調査訪問時には、クラブの会長からいただいた大根を使った煮物が食卓に上っていた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームかざはや

(ユニット名) かざはや

記入者(管理者)

氏名 西元 静香

評価完了日 23 年 12 月 20 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 明るく挨拶、地域の一員。共に支え合い、生き生きとした ホーム。(第11回の運営推進会議の場で決定) 散歩や、行事等スタッフも、利用者の方も笑顔で挨拶が出来 ている。	
			(外部評価) 事業所の理念とともに、職員で目標を出し合い作成された行 動指針を、玄関を入ったところのボードに掲示されている。 理念は、パンフレットにも明示して、より多くの方に事業所が 目指していることを知ってもらえるよう取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 地域の行事(盆踊り・夏祭り)に、利用者様・スタッフ共に継 続して参加している。高齢者クラブコーラスにも、引き続き参 加できている。また、ホームの行事へお誘いに高齢者クラブ の方々や、近隣の住民の方々の参加を頂き、楽しいひと時 を持てている。「まもるくんの家」活動では、朝・夕の登下校 時の見守りに、通学路に立っている。年末には、注連縄とお 餅を毎年届けて下さいます。	
			(外部評価) 管理者は「近所であれば、利用者お一人でも出かけられるような地 域環境」を目指して、日頃から地域の方達との関係作りや認知症の 理解に向けて取り組みをすすめておられる。地域の高齢者クラブ の方達との交流も盛んで、お互いが顔見知りとなっていて、地域行 事に誘ってくださったり、散歩途中で声をかけ合ったりされている。 又、1月7日には、七草を届けてくださったり、日頃からお花や野菜 をくださることも多く、調査訪問時には、クラブの会長からいただ いた大根を使った煮物が食卓に上っていた。又、利用者の誕生日 に、クラブの方が、伊予万歳を踊り、お祝いして下さったこともあ る。地域の神社の行事時には、利用者2名、職員1名がクラブの方 達に交じり、みなとお揃いの衣装を着て、コーラスを発表された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、各研修報告や、勉強会「転倒事故の予防 と対策」「高齢者の眼科疾患」等や、地域の方々をお招きし ての勉強会「認知症とは」を実施した。今後も、継続して行っ ていく予定。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者様には、交替で参加して頂き、思いを拝聴する事が出来ているが、本年度は、家族様の様々な事情により、1回しかご参加頂けてない。ホームでの行事等は、毎回実施と予定を報告している。そこで頂いたご意見などありがたく参考にさせて頂き、サービス向上につなげている。	
			(外部評価) 会議時には、事業所の活動報告や外部研修を受講した職員から内容報告をされたり、利用者の病気をきっかけに、「緑内障について」等、テーマに挙げ、メンバーと一緒に勉強されている。観月祭と会議を合わせて行い、地域の方やご家族と交流し、楽しむ機会も作っておられる。又、認知症の勉強会を行った際には、地域からの参加者も多く、みなで対応等についても勉強をされた。今後は、ご家族の参加も増やしたいと考えておられ、ご家族の関心があるようなテーマに配慮して、案内時にテーマを知らせ参加いただけるよう、働きかけていきたいと考えておられた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 事業所の事業者指定更新が近い事もあり、実地指導の際に、ご相談や、アドバイスを頂いたり、実際の申請でも、お電話等で、細かく教えて頂く等している。	
			(外部評価) 市の担当者は、運営推進会議時に参加していただき「事業所と地域とのおつきあい」について、交流が深まっていることをほめてくださったり、時には、介護計画のモニタリングの仕方についてもアドバイスをくださる。北条地区の同業者が持ち回りで、3ヶ月に1回、意見交換や勉強会を行っておられ参加されている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は行ってない。スタッフも身体拘束禁止や、弊害について理解している。また、玄関の鍵は掛けておらず、天候の良い時には、扉も開放している。	
			(外部評価) 1階のデイサービスの協力も得て、見守り等利用者の安全を支援されている。車いすを使用する利用者の中には、ご自分の手と足で車いすを移動させて、好きな場所に行く方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 現在は、見られていない。精神的や言葉での虐待がある事もミーティングで話し合う機会を持っている。また、今後の取り組みとして、高齢者虐待防止教育システムの資料による、職場内研修を予定している。(認知症介護研究・研修仙台センター資料)	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 意識統一のマニュアルのファイルに資料を綴じ、いつでも見られる様にしている。現在、利用者はいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約の際に、充分説明をして、理解・納得いただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情申し立ての窓口や、ご意見箱を設置している事を、ご案内し、面会や、来所の機会にご意見、ご要望を直接お伺いしたり、毎月のお便りにも、いつでも、お気軽にお申し出下さるよう、ご案内している。 (外部評価) ご家族は、事業所の観月祭や利用者ご本人の誕生会時に参加していただき、一緒にゲーム等して楽しい時間を過ごされている。ご家族の来訪時に意見や要望を聞き取るようにされており、ご家族から、薬の見直しの要望があったり、「ご自宅に戻ってみる」等、ご本人の希望をお伝えして、支援につながるよう相談されている。	ご家族は、利用者をともに支えるケアのパートナーでもあり、今後、一緒に活動するような機会作りも期待される。事業所の取り組みにご家族も参加いただきながら、サービスについて意見や要望をより具体的に引き出せるよう、取り組んでいかれてほしい。さらに、運営推進会議への参加にもつなげられたり、出席が難しいご家族へも会議の内容等を報告していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者は、常に利用者様、スタッフの立場に立って考えて下さり、自由に意見が述べられる環境である。また、管理者も平等に意見を聞く等、努力は惜しまない。	
			(外部評価) この一年、職員の入れ替わりもなく、職員同士のチームワークもよく、仕事を続けながら、家族の介護ができるよう「お互いさま」の心で、すべての職員でカバーし合っておられる。管理者は、職員が得意なことをよく把握しておられ、レクリエーション係の方がダンスのリーダーとなって地域の行事時に披露し、地域の方達に喜んでいただいた。職員は「利用者を楽しんでもらいたい」という気持ちを込めて、イラストの得意な職員や、料理の得意な職員等、それぞれの持っている力を発揮しながら取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は、ほぼ毎日ホームに来て、管理者、スタッフの勤務状況を把握し、個々の体調や、精神面のフォローをして下さっている。また、業務に応じた時間外手当の支給や、年1回の昇給、他にスタッフの誕生会や慰労会を実施して下さり、遣り甲斐がある。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内外への研修への参加を、快く行かせて下さり、参加費用や、交通費などの支給もある。また、各種資格取得への協力・理解もあり、資格試験費用も事業者が負担してくれる。等、資質向上に力を入れて下さる。また、Drも協力を惜しまれず、スタッフの要望にも快く応じて下さり、ミーティング等での、研修も行って下さる。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 地元でのサービス調整会議への参加や、地域密着型連絡協議会等への参加で、他のグループホームやその他の施設との交流が持て、意見交換ができる様になっている。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 必ず、ご利用者ご本人と面接し、状態を拝見すると共に、お話しをうかがうようにしている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>ご家族の思いや、置かれている状況、困り事を安心して相談して頂ける様に、声掛けやコミュニケーションに努めている。</p>
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>状況により、必要に応じたサービスの提供や、ご紹介を行っている。</p>
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>利用者様の得意な分野を把握し、ご本人が生き生きと活躍できる場を提供している。また、一緒に泣いたり笑ったりと、思いを共感する等、関係作りに努めている。</p>
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>ご家族の状況や、ご本人様との関係性を把握し、最良と思われる方法、関係作りの援助をしている。(家族様との間に入り、帰宅願望や外出等の希望を、叶えられるよう働き掛けている。)</p>
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>入居前に習慣にしていた事や、楽しみ等を継続して頂ける様、援助をしている。(友人との外出、食事会、自宅の草引き、喫茶店、温泉など、その都度、ご友人やご家族、スタッフ等で対応している)</p>
			(外部評価)	
			<p>利用者の友人が、毎年、お正月の3日におせちを持って訪ねて来てくださり、職員は、友人の方のお顔を覚えて、気持ちよく出迎えられるよう気配りをされている。又、「ゆっくりしてくださいね」と声をかけ、はじめのうちは、利用者の記憶がなくなるようサポートをされている。おせち料理の味で友人の記憶がつながるようだ。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者間の相性等も配慮し、席の位置を工夫したり、適宜スタッフが介入したりと、トラブル回避に努めると共に、一緒にレクリエーションをしたり、いりこを拵えたり、干し柿を作ったりと、1つの事を、一緒に出来るような工夫も行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後の落ち着き先や、その後の近況伺いをお電話させて頂いたり、他施設へご本人の面会に向ったり、買い物等で、ご家族様にお見かけした時には、お声を掛けさせて頂いて、先方からも声を掛けて頂きやすい様な、関係作りに努めている。また、利用者様が亡くなって、退所した後も変わりなく季節のお野菜を届けて下さる等、交流が続いている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者様ご本人がどうしたいか? どう在りたいか? を日々のかかわりの中で傾聴し、把握する事により、ご本人の思いを最優先で、どうすれば可能か? をスタッフ間で考え、可能な限り対応している。(場合によっては、家族様にもお願いしている。) (外部評価) 前回の外部評価結果を受けて、利用者個々に担当職員を配置してアセスメントや介護計画の作成に取り組まれている。又、利用者の姿のイラストを用いたセンター方式の様式で、利用者の思いの把握につながるようなアセスメントに取り組まれている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人にお話を伺うと共に、ご家族様にもお話を伺い、どのような生活をされていたか、趣味や嗜好品、性格などの把握に努めている。(嗜好品は、特に制限せず、アルコール・タバコも可能)	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 常に、個々の状態を把握し、心身の状況に応じた臨機応変の対応を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人の思い、ご家族様の思いを事前に伺い、ご本人が自分らしく暮らせる事を、一番に考え必要な関係者と、話し合い作成している。計画作成者と出勤スタッフ1~2名、家族様でのミニカンファレンスが少しずつできてきた。</p> <p>(外部評価) 利用者個々の担当職員が、モニタリングを毎月行っておられる。利用者の状態変化が少なく、計画内容に変わらないことから、現在は、6ヶ月、又は、12ヶ月ごとに介護計画を見直すようになっている。又、ご家族からは、事前に利用者ご本人の暮らしへの意向を聞き取り「サービス担当者会議」時、職員で話し合い、計画につなげておられる。</p>	<p>さらに、事業所の理念にも沿って、利用者個々の社会性や好み等も活かした介護計画内容を工夫されてみてはどうだろうか。又、ご家族からも要望や意見、アイデアを具体的に出してもらえよう、利用者ご本人の暮らしやケアについて、一緒に話し合うような機会も作っていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々、個々の記録を残している。また、ケアプランには、その日のケアポイントにはPを項目に付けて記入するよう指導している。(中々、徹底できていない現状があるが、根気よく声掛けしている)</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) グループホームと同じ建物に、居宅支援事業所と通所介護があり、適宜交流を行っている。(居宅ケアマネやデイ管理者にも適宜意見を求めている)</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域行事や、ホーム行事での交流により、地域住民と利用者様の馴染みの関係作りに努めている。月1回地域のいきいきサロンへ参加させて頂いている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>経営母体が内科クリニックであるが、ご本人ご家族様の希望を尊重している。また、適切な医療が受けられるよう、適宜クリニックDrが、他の医療機関を紹介して下さり、紹介状なども書いてくれている。(歯科などは、随時訪問を依頼できている)</p> <p>(外部評価)</p> <p>母体医療機関が週に2回往診に来てくれるようになっていいる。又、他科の受診はご家族が付き添っておられ、ご家族の都合がつかないような場合は職員が同行されている。</p>	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>現在、スタッフに看護職員はいないが、経営母体のクリニックに、随時連絡し指示を受けている。(週2回はNS往診がある)必要に応じてNSへ上申し、アドバイスや協力を得られている。(階下のデイサービスには、NSがおり適宜協力を得がえられる。)</p>	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<p>(自己評価)</p> <p>必要に応じて、行っている。</p>	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>入所契約時に、看取りの希望も確認している。また、適切なケアが出来る様、常にDrと連絡を取り、状態の変化に応じて、再度家族様の意向を伺い、最適な方針を決めている。スタッフ間では、送りノートやミーティングを通し、周知徹底を行っている。(必要に応じて、NSの待機、協力の話し合いが出来ている)</p> <p>(外部評価)</p> <p>この一年間は看取りの事例はないが、利用者・ご家族は、ともに、事業所で最期まで過ごすことを希望されている。「口から食べることを大切にしたい」というご家族の希望もあり、胃ろうを造設していた利用者の支援を変更して、食事介助の工夫を重ね、現在は、ご本人の大好物のお餅やおはぎ、又、ご家族が持って来てくださる手作りおやつを、皆と一緒に食べられるようになった利用者の事例がある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ホーム内研修や、外部研修に参加し応急処置の手順などの勉強を継続している。また、避難訓練時などに消防隊員に教えてもらうなどしている。(Drへも随時指導、支持を頂いている)	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の避難訓練には地域住民も参加して下さり、実際に非難の練習や方法を共に見付けている。また、運営推進会議に図り、地域の避難場所の把握や、緊急連絡網へ組み入れて貰う等している。また、地域防災会役員の名簿や、地域の地図等の配布も受けている。(防災会役員に、事業所理事長も加わっている) (外部評価) 火災を想定した避難訓練を行っておられる。事業所は、耐震性に優れた造りのため、地震発生時、事業所内に居ることが安全につながるようだ。運営推進会議時には、地区内の過去の災害事例について話し合われた。管理者は、いざという時に持ち出す携帯電話に、ご家族の連絡先を入れておくことを考えておられた。	さらに、いろいろな災害の場面を想定して、どのような準備や訓練が必要か、職員で話し合ったり、実際に訓練を重ねて、いざという時のために備えてほしい。又、地域との協力体制や事業所が地域のためにできること、役割等も具体的に考えてみるような機会にされてはどうだろうか。又、ご家族等にも不安な点等をお聞きして、さらなる安全・安心につなげていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人を尊重した声掛けが実施できている。(特に排泄面では注意を払っている)記録物は、他の利用者様から見えないように工夫し、申し送りも利用者様から離れた場所で行い、且つ個人の氏名は読み上げないようにしている。 (外部評価) 利用者のできることは、できるだけご自分の力でできるよう支援されている。調査訪問時、食後、職員は、小さなお盆を利用者の近くに置き、ご自分の食器を下膳できるように支援されていた。シルバーカーに乗せて下膳されている方もみられた。現在、利用者は女性のみであり、職員は、利用者の性格や関係性等も踏まえて利用者の仲に入り対応されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日頃から、自己決定を促している。例えば朝食は、主食を選べる(パン、米飯、粥)水分は多種用意し、その日の希望を事前に伺っている。また、行事への参加も強制はしない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 起床時間は無く、朝は自由な時間に起きて来られる。(朝食は6時から9時と幅を持たせている)また、入浴などもその方の状態やペースに応じ、回数がまばらである。(毎日、1日置き、3日に1回など)	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時の衣服が、いつも同じ物にならない様に、タンス内の仕舞い方の工夫や、自己の選択の優先、自力で行えない方の適宜な更衣を配慮している。散髪は、家族様、ご本人様の希望により、行きつけの美容室だったり、スタッフが介助したりしている。(毎朝は、必ず整髪しスタイリング剤も用意している)	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の下拵えを一緒にしたり、季節に応じた食材を使用したり、1日の内に肉、魚類が重複しない様にしたり、好き嫌いを把握して、配膳時に配慮したり、食べたい物を伺って献立に反映させたりしている。また、テーブル拭きや下膳もして頂いている。時には、洗い物もして頂ける。(汁物を、利用者様に作って頂く事もある。)	
			(外部評価) 勤務によって食事毎、食事作りを担当する職員が決まっており、個々でメニューを事前に決めて調理をされている。肉は精肉店から配達してもらい、いりこやしいたげは、産直市で購入し、事業所の畑の野菜等も採り入れて、新鮮でおいしい食材を使用できるよう努めておられる。具を切って澄し汁を作ってくださいる利用者があり、調査訪問時には、もやしの根とりをしてくださっている利用者の様子もみられた。職員は、介助の必要な利用者の隣に座り、利用者と一緒に同じものを食べながら食事をされていた。一皿食べることに「おいしいわ」と、感想を話してくださいる利用者や、職員とのやり取りを楽しみながら食事する利用者もあり、ゆっくりした食事の時間となっていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回、食事量をチェックし記録している。また、必要に応じてエンシュア等の高カロリー補助食や、食形態を工夫したりお粥にチーズや卵を入れる等の工夫をしている。また、水分は1,500cc程度確保を目安に、提供したり促したりしている。(夏場は、1,500cc~2,000cc)必要に応じてチェック表も付けている。(個々の状態に応じて、摂取量は臨機応変にしている)	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っている。利用者の方々も習慣化している。(週2回の義歯消毒を実施している)状態に応じて、ブラッシングのみや、口腔ケア用品で対応している)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表を付け、個々のペースにあった声掛けや、誘導を行って、なるべくトイレでの排泄ができる様に支援している。(夜間も、適宜トイレ誘導を行っている。2人介助の必要な1名のみオムツ使用) (外部評価) トイレにはブザーが付いていて、利用者は職員の手が借りたい時等にはブザーを押して職員を呼んでおられる。トイレに行けるよう声をかけたり誘導して、トイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 野菜などの繊維質を、献立に取り入れたり、水分の補給に留意したり、適度な運動をして頂いたり、2.3日に1回はヨーグルトをお出しする等、予防に努めている。また、個々の排便リズムを把握し、便秘が長引かないように配慮している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外は入浴があり、希望に応じて、毎日、1日置き、3日に1回など個々に応じた回数となっている。(また、体調等で、続けて入浴できない時は、清拭を行っている。) 行事等で、入浴が提供できなかった場合は、日曜日に代替入浴も行っており、週6日の、入浴日を確保できている。 (外部評価) 午後から入浴の準備をして、利用者の希望等も聞きながら支援されている。現在、利用者は、入浴がお好きな方ばかりで、毎日入る方もあり、2日に1回は入浴できるよう支援されている。利用者の状態によっては、シャワーチェアと足浴支援するような方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の状態に応じて、午睡や休息の時間を作ったり、日中の活動を心掛け、安眠できる様に配慮している。(冬場では、入浴できない方に希望に応じて足浴を行ったり、夜間、湯たんぽを入れる等している)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬状に目を通し、薬の内容を把握するようにしている。服薬内容の変更時には、日誌や申送りノート等で、速やかに全スタッフに伝達し、服薬後の状態などの観察や、Drへの上申を行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の得意な分野を把握し、台所仕事や繕い物、洗濯物畳み等を提供し、生活に張りが持てるようにしている。(喫茶店や、温泉などの外出も、月1回～2回程度実施している) 犬のお好きな方には、ドッグランがある喫茶店にする等、場所にも配慮している)	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候の良い日には、近くの神社へお参りに出掛けたり、食材の買出しにスーパーへ一緒したり、月に1～3回程度喫茶店へ出掛けたりしている。(個々の状態や経済状況による) また、季節の花見や、外食時にはご家族様もお誘いし、一緒に出掛けるなどしている。(精神面から、神社へのお参りが、日課になっている方には、よほどの悪天候で無い限り、対応している。) (外部評価) 季節に応じて初詣に行かれたり、季節のお花を見に出かけたり、時には居酒屋や喫茶店に出かけて楽しまれている。調査訪問時、意欲が低下傾向にあるような利用者には、玄関先にシルバーカーを準備してから、利用者ご本人に声をかけて散歩に誘っておられた。又、近くの神社へのお参りが日課になっている利用者は、お参りから帰って来られ「お参りに行くときよく眠れるのよ」と、安心した笑顔で話してくださった。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 基本的には、ホームでお預かりし、管理している。収支は必ず小遣い帳に記入し、レシートの貼付、2ヶ月毎(奇数月)に締め、ご家族様に確認して頂き、サインか印を頂いている。(欲しい物は自由に購入でき、小額を自分で管理されている方もいる)	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば、いつでも電話できる。ご本人がダイヤル出来ない時は、援助している。また、はがきや、手紙など自由に遣り取りできる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 毎月、玄関の壁やカレンダーを、季節に応じて交換したりし、季節のお花を飾ったりしている。時季に応じ、扇風機や加湿器、コタツなども出している。光などはカーテンや蛍光灯などで調節している。トイレのコール音が大きいのが、利用者の方は気にならないとの事。(トイレトペーパーをご自分で交換出来る様、ペーパーホルダーを購入し、設置した)</p> <p>(外部評価) お正月には、地域の愛護班の方達が来て玄関にしめ縄飾りを付けてくださり、お正月の準備をしてくださった。椅子のひじかけに布を巻いて、ひじが当たっても痛くないようにされている。居間は、車いすや歩行器等で動きやすいように、広い空間を作っておられる。レッグウォーマーや温かい履き物、床暖房で足元が暖かいように配慮されている。ソファーやいす、畳のスペースにもちょっと腰をかけることができ、利用者はそれぞれにお好きな場所で過ごされていた。中庭には桜の木があり、春には桜の木を囲んでお花見をしながら食事することもある。事業所は、となりの畑をお借りしており、地主の方に教えていただきながら野菜作りをされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) マッサージチェアを利用したり、ソファーで寛がれたり、コタツに温まったりできる。また、エレベーターホールにも椅子を置き、自由に座れる。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) ベッドやタンスはホームでも用意しているが、使い慣れた物で希望があれば、持ち込みは可能である。また、ベッド、タンスの配置は、個々の希望に応じて変更している。寝具は、個人で馴染みの物を用意して頂いている。他に、椅子やミニテーブル、テレビ、扇風機等自由に持って来て頂いている。</p> <p>(外部評価) 居室入口には、利用者の顔写真や名前、生年月日を示しておられる。ご家族の写真飾っておられる居室もみられた。窓からは畑の広がりや山々も見え、季節の移り変わりが眺められる。ご自分で居室の掃除をされたり、職員とシーツ交換する利用者もいる。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 個々の能力に応じ、出来るだけご自分でして頂き、見守りのみ行い、手を出し過ぎない様にしている。また、建物はバリアフリーになっており、行動を制限しない様にしている。特に、自発的にされた事は静止せず、適宜付き添ったり、見守ったりしている。</p>	